

おおま 議会だより

大間地区
大漁祈願祭



主な内容 6月定例会

- P2 6月定例会
- P3 一般質問
- P4 全員協議会・特別委員会
- P5 議会のうごき
- P6 議会のできごと・編集後記

【発行】青森県大間町議会 【編集】議会広報編集委員会
〒039-4692 青森県北郡大間町大字大間字奥戸下道 20-4 電話 0175-37-3029

第2回 6月定例会

令和7年第2回定例会を6月12日に開会し、6月17日に閉会しました。
本議会に提案された議案10件はすべて原案とおりに承認、可決しました。

令和7年度 補正予算

一般会計

歳入歳出それぞれ1,178万円を追加し、歳入歳出予算の総額を45億7,469万円とした。

歳入の主なもの

国庫支出金

○国庫補助金で物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2,952万円を計上し、防災・安全交付金3,160万円、道路メンテナンス事業補助金537万円をそれぞれ減額計上。

諸収入

○雑入で原子力発電所対策諸費用444万円を追加計上。

町債

○起債対象事業費の精査に伴い過疎対策事業

歳出の主なもの

総務費

○総務管理費の財産管理費で庁舎警備・清掃業務委託料367万円、物価高騰対応重点支援事業費で物価高騰対策支援給付金(調整給付)150万円を計上。

農林水産業費

○農業費の繁殖センター費で動物購入費147万円、水産業費の漁港管理費で重機借上料242万円を計上。

商工費

○おおも温泉費で海峡保養センター・養老センター指定管理料230万円を追加計上。

土木費

○下水道費の下水道整備費で大間町下水道事業会計負担金433万円を追加計上。

予備費

○財源調整いたしまして1,119万円を追加計上。

水道事業 会計補正予算

○職員の人件費精査に伴う補正、町営住宅根田内団地配水管布設に伴う建設改良費の補正であり、収益的収入及び支出の営業費用4万円、特別損失28万円を追加計上し、収益的支出の総額を1億6,933万円とした。

○資本的収入及び支出で建設改良費366万円を計上し、資本的支出の総額を3億4,704万円とした。
※議会の議決を経なければ流用することのできない経費の職員給与費で4万円を追加計上。

下水道事業 会計補正予算

○職員の人事異動等に伴う補正であり、収益的収入及び支出の収入において、営業外収益433万円を追加計上し、支出では、営業費用422万円、特別損失10万円を追加計上し、収益的収入の総額を2億1,355万円、収益的支出の総額を1億9,467万円とした。
※議会の議決を経なければ流用することのできない経費の職員給与費で422万円、他会計からの補助金として、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額433万円を追加計上。

提案

○刑法等の一部を改正する法律に基づき、大間町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正。
※懲役及び禁錮を廃止し、拘禁刑に改めるもの。

専決処分

報告

○畜産関連業務作業中において、不注意により生じた物損事故による損害賠償の額を定めるにあたり、町長の専決事項の指定に基づいたもの。

承認

○地方税法等の一部改正により、大間町税条例の一部を改正。
○半島振興法第17条の地方税の不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令の一部改正により、大間町半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正。
○地方税法等の一部改正により、大間町国民健康保険条例の一部を改正。
○地方交付税、地方消費税交付金等の確定及び財源調整の予算措置。
○保険給付費特別交付金の確定及び財源調整の予算措置。

大間町公式LINE開始 防災情報がスマホに届く!!



堺 祐介 議員
質問時間 50分

再質問 防災無線のデメリットは、聞き逃してしまう可能性があるところ。町は防災無線プラスデジタル化を行う考えがあるのか？

町長 情報発信媒体の少なさや手入力による情報伝達のラグを解消するため、一齐に情報を配信できる防災情報発信システムの導入を予定しており、その一つとして、大間町公式LINEの運用準備を進めている。

大間町公式LINEは、防災情報のほかに平常時の防災無線の放送内容を配信予定。

再質問 デジタル化で見える化をしなければならぬ。情報の、確実に正確な周知方法として公式LINEの利用はよい方法。

全町民のカバー率を考えると、防災無線・公式LINEさらに、一人暮らしの高齢者の家庭に対するの対応は？

参事兼総務課長 防災の情報配信システムを今考えております。

配信したい情報を一度打ち込み、複数の媒体へ情報を配信する。連携する媒体は、LINEそしてヤフー防災アプリ、緊急速報メールの他に携帯電話を持たない方向けに入力した情報が音声に変換されて通知される電話機能との連携等を予定。

導入することで、情報伝達の手段・多重化あとは配信業務のワンオペレーション化が可能になる。

再質問 さまざまな行政サービスが職員員の負担の軽減にもなる。今後公式LINEは発展・充実していくのか。

町長 既存のLINEの機能で実施できることについては、積極的に活用していきたい。

機能拡張については、今後の利用状況等を見ながら検討していきたい。

再質問 運用開始の時期は？

参事兼総務課長 早ければ町の防災訓練のあたりか今年度内の準備ということで計画はしております。

再質問 今年度内には、運用開始は是非していただきたい。

使い方がわからない町民のために町の防災訓練時に、講座などを私は行ったほうがいいと思います。が、そういう考えは？

参事兼総務課長 今後検討していきたい。

公共施設の老朽化

修繕・解体の計画は？

町長 大間町公共施設等総合管理計画を策定しております。

施設の改修等については、負担を抑えるため過疎債や補助金を活用しながら進めたい。

再質問 婦人の家どれぐ

らの年数が経っているか？

町長 材木の農村婦人の家は、昭和60年に落成され40年、築40年を経過しております。

再質問 婦人の家は避難所には指定されている。利用頻度が

少ない、老朽化による施設の不具合等が発生すると思

うが。

産業振興課長 老朽化につきま

しては、小さい修繕は毎年行っています。

現在、大きな修繕の予定はありません。

防犯カメラ普及促進 住民の安心・安全の対策を

質問 公共施設で防犯カメラが設置されているのは？

町長 役場、スマイリー、大間小、奥戸小の4施設。

再質問 大間中に設置されていない。防犯上必要と思

うが。

町長 大間町は学校・保育園が集中した一本道、重点的にやらなければいけない。

子どもを守るために

は必要。

調査しながら検討していきたい。

再質問 一般家庭には、設置促進を促すことは様々な観点から難しい、費用面も。

一般家庭に設置する補助など考えがあるのか。

町長 一般家庭については、普及率を調査していませんので、設置希望数が増えたら検討していきたいと思っ

ています。

全員協議会

〔令和7年5月30日〕

案件

一、第3期大間町ま・ひと・しごと創生須郷戦略及び人口ビジョン改訂版の報告について

（基本目標1）

・具体的な施策

- ①第1次産業におけるブランドの維持と6次産業の推進
- ②第1次産業活性化のための環境整備
- ③企業誘致・創業支援・担い手支援

・見直し箇所

- ①一人あたり町民所得基準値24.8万8,000円に対し、目標値27.3万7,000円と設定

（基本目標2）

・具体的な施策

- ①大間の魅力を活かした観光振興
- ②郷土への愛着の醸成
- ③移住・定住支援・関係人口創出

・見直し箇所

- ①転入数基準値128人に対し、目標値134人
- ②転出数基準値171人に対し、目標値162人、
- ③町に対する愛着度基準値46.8%に対し、目標値80%と設定

（基本目標3）

・具体的な施策

- ①安心して産み育てられる支援対策の充実
- ②働きながら育てられる保育サービスの充実
- ③地域をあげた子育て支援対策の構築

・見直し箇所

- 出生数基準値24人に対し、目標値24人と設定

（基本目標4）

・具体的な施策

- ①誰もが健やかに暮らせるまちづくり
- ②安全・安心に暮らせる体制づくり
- ③広域連携によるまちづくり

・見直し箇所

- 平均寿命男性基準値78.4歳に対し、目標値79.4歳、女性基準値86.6歳に対し、目標値86.6歳と設定
- ※いずれも議員全員同意がないことでの承認された。

〔令和7年6月17日〕

案件

一、(仮称)大間町学校給食センターの一部計画変更について

・令和7年度に入り、佐井村が給食センター事業への参画意向を示した事に伴い、事業計画変更を担当課より説明があった。

- 変更された事業内容は次のとおりである。
- ①延床面積は550㎡から595㎡へ
- ②調理能力は最大400食から最大500食へ
- ③運営費(年間)見込み2町村分で7,800万円程度から

3町村分で9,000万円程度へ変更となる旨が報告された。

・運営費は、学校給食費無償化補助金及び教職員学校給食費徴収金で賄われ、残りを三ヶ町村の自治体の人口割で賄うこととしている。

※いずれも計画であり変更等があれば、町民皆様方に紙面等でお知らせいたします。

特別委員会

〔令和7年5月30日〕

(大間・函館フェリー航路対策特別委員会)

案件

一、令和6年度大間・函館フェリー航路運航実績及び決算の報告について

- ・運航実績は前年(令和5年)に比べて利用人員は3,614人増、輸送台数(バス・乗用車等)は2,134台増となっている。営業利益は前年と比べると1億2,123万円減つてはいるものの、約4,700万円の赤字である。
- この状況を見ると、大間航路は利用人員の増はもとより、輸送台数の増大を考えなければ、今後も赤字経営が予想されるのではないかと思われる。しかしながら、人件費、管理費等の精査も必要でないかと思われる。

〔令和7年6月12日〕

(大間原子力発電所対策特別委員会)

案件

一、新規制基準適合性審査の対応状況について

- ・第73回目の審査を終えた時点で審査済みの項目が多く見られ始めているが、まだ

審議継続及び未審査の項目はいくつか残っている。町自治体及び町民各位の経済状況を考える時に、事業者には工事再開及び運転開始時期等は、今後は予定通りに進めてほしいと念願するものである。

二、建設・運転差止等請求訴訟の審理状況について

・住民の訴訟について令和7年5月29日に第14回口頭弁論が行われ、今後としては、第15回は9月30日、第16回は12月22日、第17回は令和8年2月10日に予定されている。

・函館市の訴訟について平成26年4月に訴訟を受けてから本年度11年である。現在の審理状況は第34回口頭弁論は9月2日、第35回は12月24日に予定されている。

5月

- 10日 大間町消防団定期観閲式
- 11日～13日 令和7年度全国原子力発電所
所在市町村協議会総会（東京都・議
長及び事務局長）
- 15日 議会事務局職員研修会（青森市・事
務局）
- 17日 奥戸小学校「奥戸地区・材木地区大
運動会」
- 20日 下北郡町村議会議長会臨時総会（む
つ市・議長及び事務局）
- 21日～22日 町村議会広報研修会（青森
市・議会広報編集委員会委員並びに
事務局）
- 24日 大間小学校運動会
- 26日～28日 全国町村議会議長会議長・副
議長研修会（東京都・議長及び副議
長並びに事務局長）
- 30日 議会議員全員協議会
大間・函館フェリー航路対策特別委
員会
大間町交通安全対策協議会総会（大
間町役場・議長）
例月出納検査（宮野議会選出監査委
員）

6月

- 3日 青森県町村議会議長会臨時総会（青
森市・議長及び事務局長）
- 11日 議会運営委員会
大間地域婦人会「父の日記念花束贈
呈」（うみの子保育園前・議長）
- 12日 第2回大間町議会定例会開会
大間原子力発電所対策特別委員会
大間町交通安全対策協議会要望活動
（大間警察署・議長）
- 13日 総務教育常任委員会及び産業民生常
任委員会
- 17日 一般質問・議案審議
第2回大間町議会定例会閉会
議会議員全員協議会
議会広報編集委員会

- 23日 令和7年度大間地区連合防犯協会定
時総会（健康福祉センター「スマイ
リー」・議長）
令和7年度大間地区暴力追放推進協
議会定時総会（健康福祉センター「ス
マイリー」・議長）
- 27日 例月出納検査（宮野議会選出監査委
員）

7月

- 3日 大間町死亡事故ゼロ6,000日達成に
伴う街頭活動（大間町役場前・議長）
大間原発交通安全等対策協議会総会
（健康福祉センター「スマイリー」・
議長及び大間原子力発電所対策特別
委員会委員長並びに事務局長）
大間原子力発電所三ヶ町村協議会
（健康福祉センター「スマイリー」・
正副議長及び大間原子力発電所対策
特別委員会正副委員長並びに事務局
長）
- 9日 議会広報編集委員会
- 10日 青森県町村議会議長会県下町村議
議員研修会（青森市・議員及び事務
局）
- 14日～18日 全国原子力発電所立地市町村
議会議長会定期総会及び下北半島振
興促進連絡協議会並びに下北総合開
発期成同盟会による国土交通省への
要望活動（東京都・議長及び事務局
長）
- 22日 議会広報編集委員会
- 24日 東通村「村営牧場」視察研修（議員
及び事務局）
- 28日～31日 決算審査（宮野議会選出監査
委員）
- 29日 京都府舞鶴市議会行政視察（大間町
役場・議長対応）
- 31日～8月2日 全国町村議会事務局職員
研修会（東京都・事務局長）

大間町議会の出来事

研修

町村議会広報研修会

令和7年5月21日（青森市）

青森県町村議会議長会主催による、町村議会広報研修会に議会広報編集委員会（堺委員長外）が出席しました。

第1部では、議会の「見える化」と住民との「信頼」築く―議会広報の基本と編集―と題し、議会広報サポーター芳野政明氏の講義があり、
①「議会だより」発行の目的・役割、
②議会広報の編集方針、企画・制作の基本を学びました。

第2部では県内5町村の広報誌を基に広報クリニックを行いました。

広報編集委員会では、発行の都度改善を重ね町民の皆様へ情報が伝わりやすい広報誌作成に引き続き取り組んでいきたいと思っております。



研修

県下町村議会議員研修

令和7年7月10日（青森市）

青森県町村議会議長会主催による、県下町村議会議員研修会に竹内議員外が出席しました。政治アナリストの伊藤惇夫氏を講師に「今後の政局・政治展望」〜どうなる参議院選、どうする石破政権〜と題し講演がありました。

7月2日に参議院議員通常選挙が公示されたこともあり、関心の高い時事情報となりました。概要として、1. 石破政権、苦境の背景 2. 課題への対応は 3. 参議院選挙の行方 4. 参議院選後の動向は 5. 本来の焦点は「日本の衰退」？を柱に、(1)国会運営での躓(2)問題の本質、物価景気対策の無策(3)自公過半数割れの可能性(4)連立拡大の可能性(5)政治は長期的国家ビジョンを描け等々 様々な視点から、今後の日本政治を伺うことができました。

議会だより8月号

発行時には参議院議員通常選挙結果により、政局の動きに常に關心を持っていきたいものです。



編集後記

年々暑さが厳しくなってきました。

6月に入ってからからは日本列島南以南の関東・九州方面では真夏日を何日も記録しています。「コロナ」も落ち着き、本州最北端の地である大間崎にもたくさんのお客が訪れております。その観光客の一人が「大間に初めて来たが、大間は私の所（栃木県）とは違い、大変涼しいし、海の色もきれいだ」と感激して話してくれました。

さて、大間町の7月〜9月の短い期間ですが夏の行事が続きます。

今年の大間の夏祭りは、神楽を先頭に御子行列・山車4台が続く本祭が行われると聞いております。帰省されてくる家族の方々も多くいると思いますが、短い大間の夏を楽しみ、家族の絆を深め物価高騰の今日であります、めげずに明日に向かってさらにまい進して下さい。ガンバロー!!

記【吉田】

議会広報編集委員

委員長 堺祐介
副委員長 山崎一利
委員 山崎正広
委員 佐々木信彦